

生理用品の無償提供個数等調査結果について(令和7年9月実施)

令和7年9月に県立学校に対して、生理用品の無償提供に関する次の1～4について調査を行いました。(回答数160校)

1 無償提供個数

年度	令和6年度	令和7年度(4月～9月)
提供数	21,011 個	23,259 個

2 非対面式提供場所

	トイレ・洗面所	トイレ個室	更衣室	廊下	保健室	その他※
該当校数	65校	6校	18校	20校	22校	3校
割合	41%	4%	11%	13%	14%	2%

※相談室、図書室、購買室

3 対面式提供場所

	保健室	職員室 学年室	図書室	相談室	体育 教官室
該当校数	158校	7校	2校	2校	1校
割合	41%	4%	1%	1%	1%

4 申告方法

	カード	二次元 バーコード	直接申し出る	特に 求めていない
該当校数	34校	14校	71校	79校
割合	21%	9%	44%	49%

【考察(各学校からの意見等を参考)】

- ・ 無償提供の生理用品の利用状況は年々増加しており、継続的な支援が求められている。
- ・ 非対面方式は声をあげづらい生徒への配慮になっている一方、急に必要になった際に気兼ねなく利用している生徒の割合が高いと推測される。
- ・ 対面方式は、健康相談や福祉的な支援の機会につなげる手立ての一つとして、非対面方式と併用して運用している。
- ・ 生理用品の予算化により、安定した無償提供が可能となっている。